



日耳鼻医学会 F A X ニュース NO 142

平成20年7月15日 発行 (特)日本耳鼻咽喉科医学会 E-mail jimuj@jenti.or.jp HP http://www.jenti.or.jp
〒104-0031 東京都中央区京橋2-11-8 全医協連会館5F FAX 03-5524-5228 TEL 03-5524-5230

清水淑郎理事長再任 3期目に

唐澤日本医師会会長、西島参議院議員も顧問に

平成20年6月29日開催された平成20年度定時代議員会ならびに総会において平成20・21年度役員が選任され、互選の結果理事長に清水淑郎先生が再任された。次期役員は以下の通り(敬称略)

- 理事長 清水淑郎(東京)
- 副理事長 石山英一(東京) 鈴木 徹(愛媛)
- 理事 盛 庸(青森) 柴原義博(宮城) 滝田孫一(群馬) 桧垣清高(山梨) 笠原行喜・中村兼一・江崎史朗 坂口文雄・河原秀明(以上東京) 藤垣 熙(岐阜) 東家倫夫(熊本) 菊池清文(宮崎) 嶋田六郎(愛知)
- 監事 牛嶋申太郎(東京) 松浦健次郎(徳島)

また下記5氏を顧問に委嘱することが承認された。

- 関根唯和(徳島) 本城好春(佐賀) 藤谷昭平(東京)
- 唐澤祥人(日本医師会会長) 西島英利(参議院議員)

清水理事長は就任の挨拶で、「4年間2期努めさせて頂きましたが、非常に目を見張るような立派な業績を全然上げられず恐縮しておりますが、でもこういう耳鼻科の状況を考えれば何とか維持できたものと考えます。今度3期目をやらせて頂くにあたり、何とか最後の期をしっかりとやりたいと思いますので、是非宜しくご支持のほどお願い申し上げます。」と述べた。また新しく副理事長に就任した石山英一先生は「今後日耳鼻医学会として学会とのかねあいが少しでも戻るように努力出来ればと思っております。」と挨拶した。

『医療政策を取り巻く財政問題』

慶應義塾大学商学部教授 榎丈善一先生の総会講演より6月29日の日耳鼻医学会総会に先立って慶應義塾大学教授の榎丈善一先生が講演を行った。講演要旨は下記の通り。

2008年になると社会保障を守るためにある程度負担増は仕方がないというグループ、全く負担増をしくても政府を叩けばなんとか15兆円くらい出てくるだろうというグループ、また、社会保障は視野になく小さな政府を目指そうというグループも出てきて、この三つどもえの論戦が2008年には始まる。しかし莫大な長期債務や社会保障の崩壊を解決するためには、所得の再分配機能を使うしか方法がない。市場経済を積極的に活用しつつも、適正な規模を持った福祉制度を国民が共有地の様に使うことで、生活不安を解消出来る。高齢者が多い県では、医療福祉産業が栄えて当然だ。医療や福祉で地域を振興するためには地方自治体の負担のあり方も考えたほうがいい。医療や福祉で地域振興をやってなにか悪いのか。福祉が大きくなったからと言って市場の活力が減退することはない。公費を増やさないと医療は駄目だと思っている。無駄の徹底的な削除と社会保障の機能の強化は同時に出来る、そのために財政システムを社会保障だけ分離してそのための負担増は他のところに一切回さないというような約束事を国民に示せば良いと思う。

院外処方率が約6割 診療行為別調査、耳鼻科診療所は75%

厚生労働省が6月20日発表した「2007年社会医療診療行為別調査結果の概況」によると、院外処方率は59.8%と6割近くに達していることが分かった。06年調査では54.6%で、前年から5.2ポイント上昇した。病院が69.2%、診療所は56.8%だった。診療所について診療科別に見ると、耳鼻咽喉科が最も高く74.8%だった。

後発医薬品の使用状況では、薬剤点数に占める後発品

の割合は6.8%、薬剤種類数に占める後発品の割合は19.3%で前回に比べて微増であった。(J.M)

「オンライン請求で廃院検討」が8.6% 日医が調査「義務化は無理」

日医は7月2日の定例会見で、レセプトオンライン請求の義務化に関するアンケート調査の結果を発表した。2011年度に原則義務化されるオンライン請求に対応できないため廃院を考えている医療機関は、アンケートに協力した4万2130の病院・診療所のうち3611施設(8.6%)にのぼった。廃院を考えている医療機関の開設者は、80歳以上が35.0%を占め、70代も23.2%だった。日医の中川俊男常任理事は会見で「オンライン請求はあくまで希望する医療機関が移行する手挙げ方式とすべきで、完全義務化には無理がある。地域の医療機関が廃院することのないようにすべき」と訴えた。(J.M)

「時間外」患者から8400円、山形大で徴収開始

山形大学医学部付属病院は6月1日から、8400円の「時間外診療特別料金」の徴収を開始した。この保険外の自己負担の徴収対象は、夜間や休日の時間帯における軽症患者で、いわゆるコンビニ受診を防止するのが狙い。全科共通のルールに加えて、各科に固有の事情を加味したルールを作成したことが特徴。

同病院での「時間外診療特別料金」を徴収しない場合の耳鼻科での判断基準は次の通り。

- *呼吸困難のある急性喉頭蓋炎や喉頭外傷、気管(支)異物
- *呼吸困難のある頸部膿瘍、蜂窩織炎、扁桃周囲膿瘍
- *嘔吐を伴うめまい症
- *顔面多発外傷
- *発症48時間以内の未治療の顔面神経麻痺

(m3.com)

『鳥取FORUM 2008 in 米子』

明日役立知識をもって帰ろう

参加登録受け付け開始

会場：米子全日空ホテル

プログラム

- 分科会 9月14日(日) 14:00~18:30
- 全体集会 9月15日(月・祝日) 9:00~12:30
- 懇親会 9月14日(日) 19:00~21:00
- 観光エクスカーション 9月14日(日) 10:00~14:00

詳細は案内冊子を参照下さい





プロスタグランジンD₂-トロンボキサンA₂受容体拮抗剤
アレルギー性鼻炎治療剤

バイナス錠 50mg 75mg

ラマトロバン製剤

Baynas[®] 薬価基準収載

指定医薬品、処方せん医薬品(※※新薬の処方せんが必要)

効能・効果、用法・用量、禁忌、使用上の注意等については、製品添付文書をご参照ください。

※本剤の小児等に対する安全性は確立していません。
【使用経験が少ない】

販売(資料請求先:学術部) **日本新薬株式会社** 京都市南区吉野西ノ庄門町14

製造販売元 **バイエル薬品株式会社** 大阪市淀川区宮原3-5-36

(2006年7月作成)